

2021 春の高校バレー全国大会 第73回 全日本バレーボール高等学校選手権大会

3 回戦進出！！

★令和3年1月5日～『春の高校バレー 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会』が東京体育館で開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会は無観客で行われることになりました。

登録選手の18名以外の部員や保護者は、会場には立ち入ることはできませんでしたが、宿泊のホテルの1室を借りてリモートでの応援や地元鹿児島から熱い声援を送りました。

1回戦は、神奈川県第一代表の川崎橘高校にセットカウント2-0で勝利しました。

2回戦は、岐阜県の県岐阜商業高校と対戦し、セットカウント2-0で勝利しベスト16入りを果たしました。

3回戦は、大阪府第一代表の金蘭会高校と対戦しました。高さで劣る本校は、持ち前の粘りとコンビネーションバレーで対抗し善戦しましたが、セットカウント0-2で敗退してしまいました。

『日本一』を目標に、モットーである『拾って、繋いで、考える、心の全員バレー』を常に意識し、今年のテーマである『顔晴るバレー』で、厳しい練習に耐え、試合では常に笑顔で楽しくプレーしてきました。

目標には届きませんでしたが、3年生を中心に部員26名が一つになり、持ち味のコンビネーションバレーを貫き、最後まで粘り強く、鹿女子らしいバレーを展開しました。

大会出場にあたり、多くの方々からご支援、ご声援、激励を賜り、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これから新チームとなりますが、また全国で通用するチームとなり『日本一』を目指していきたいと思えます。今後ともご声援よろしくお願いいたします。

★1回戦 (1/5)

鹿児島女子 VS 川崎橘

25-19

25-23

★2回戦 (1/6)

鹿児島女子 VS 県岐阜商業

25-23

25-21

★3回戦 (1/7)

鹿児島女子 VS 金蘭会

12-25

21-25



★『拾って、繋いで、考える、心の全員バレー!!!』



全国の舞台で躍動!!!



★喜びの表現も、ハイタッチではなく、肘タッチ!!!



★ベンチからも声を出しての応援は禁止!!!

★ボードを使ってコート内の選手とコミュニケーションを図り、作戦を確認。



★マスク着用でコロナ感染防止を徹底!!!!



★全国大会の会場に入る前は、『雪に耐へて梅花麗し！』の横断幕に全員で手をかざし、精神統一を図ります！！



★試合前は、全員で手を繋ぎ合わせ
心をひとつに！！



★鹿女子自慢の鉄壁のブロックで
相手エースを封じます！！



★オレンジコートに弾ける
サイコーの笑顔！！！！





★全国大会ゲームセット、コートでの最後の整列！！
3年生にとって、これが高校現役最後の瞬間！！

『サイコーの仲間とサイコーの瞬間を分かち合える！！』
それが鹿女子バレー部！！



- ★大会会場には、選手とマネージャーの19名しか入場できず、部員26名の全員が揃うのは、ホテルと行き帰りの時だけでした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用はもちろん、消毒など徹底させての大会でした。
- ★3年生13名（選手12名、マネージャー1名）の選手12名全員が、オレンジコートに立ってプレーしました！！また、マネージャーもベンチでしっかりサポートしました！！最高の財産を残すことができました！！
- ★これからも公立高校でできる限られた練習や環境の中で、鹿児島島の生徒でも「やればできる！」ことを実証し、新チームでも「日本一」を目標に頑張っていきます！！

ご声援、本当にありがとうございました！！！！

感謝